

sl

Computing [edit]

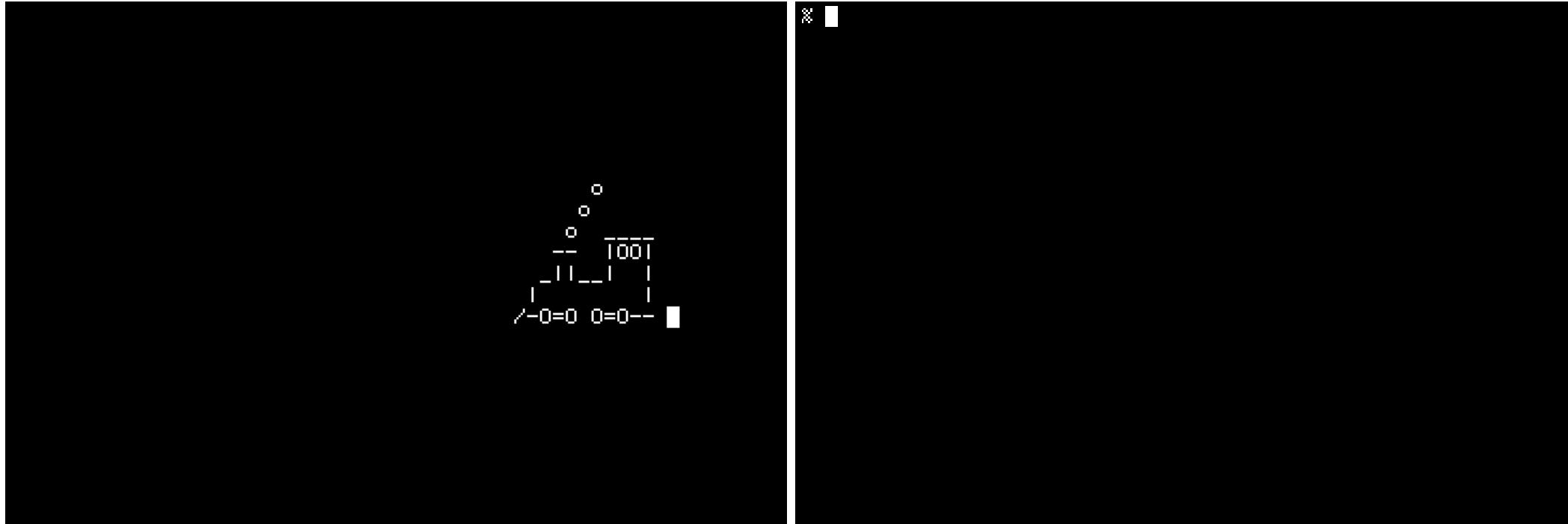
- sl, a humorous command in some [Unix](#)-based systems that draws an animation of a steam locomotive, intended to be invoked as a typo of [ls](#)
- [.sl](#), the country code top-level domain for Sierra Leone
- [SL \(complexity\)](#), a class of computational complexity
- [Scientific Linux](#), a Linux distribution
- [Service Loading](#), a variant of WAP push method

--utashiro

こんなのが走る

```
char *ban[] = {  
    "o\0\0\0\0",  
    "o\0\0\0\0\0",  
    "o____",  
    "--|00|",  
    "-||_|",  
    "/-0=0 0=0--"};
```

sl



fj.sources or fj.jokes?

- 1985年
- fj.sources だけ? fj.jokes かも?
- 環境
 - VAX-11/780 + 4.2BSD? (ASCII版?)
 - VT-100 or PC-9801
 - 9600bps RS232-C 接続

開発ソースを発見！

```
› $ ./bin/ls -lT
total 40
-rwxr-xr-x  1 utashiro  staff  32768  6 24 11:58:57 1987 sl
-rw-r--r--  1 utashiro  staff   1024  8 10 22:34:39 1985 sl.c
-rw-r--r--  1 utashiro  staff    889  8 10 21:56:19 1985 sl.org.c
› $ file sl
sl: a.out big-endian 32-bit demand paged executable not stripped
› $ █
```

sl.org.c と sl.c という2つのファイルがある。

1985-08-10 は...

\$ week -C 1985/8/10

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	1
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

7月							1985 8月 昭和60							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31		29	30				

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30		29	30	31			

sl.orig.c - curses library を使っている

```
for ( i=0; i <= width; i++) {
    for ( j=0; j < 7; j++) {
        move(j + ceil, 0);
        delch();
        move(j + ceil, NCOLS-2);
        addch(*(ban[j]+i));
    }
    refresh();
}
for ( i=NCOLS; i ; i--) {
    for ( j=0; j < 7; j++) {
        move(j + ceil, 0);
        delch();
    }
    refresh();
}
```

sl.c - リリース版は fputs() に変更

```
for (i=NCOLS; i ; i--) {
    for (j=0; j < 7; j++) {
        fputs (tgoto (CM, i, j + ceil), stdout);
        putns (ban[j], NCOLS - i);
    }
    refresh();
}
for (i=0; i <= width ; i++) {
    for (j=0; j < 7; j++) {
        fputs (tgoto (CM, 0, j + ceil), stdout);
        putns (ban[j] + i, 100);
    }
    refresh();
}
```

SIG_IGN 問題

- 開発ソースに `signal` の呼び出しが残っていない。
- fj に投稿する直前に入れたんじゃないだろうか
- でも `/* コメントアウト */` してた

進化を続ける sl

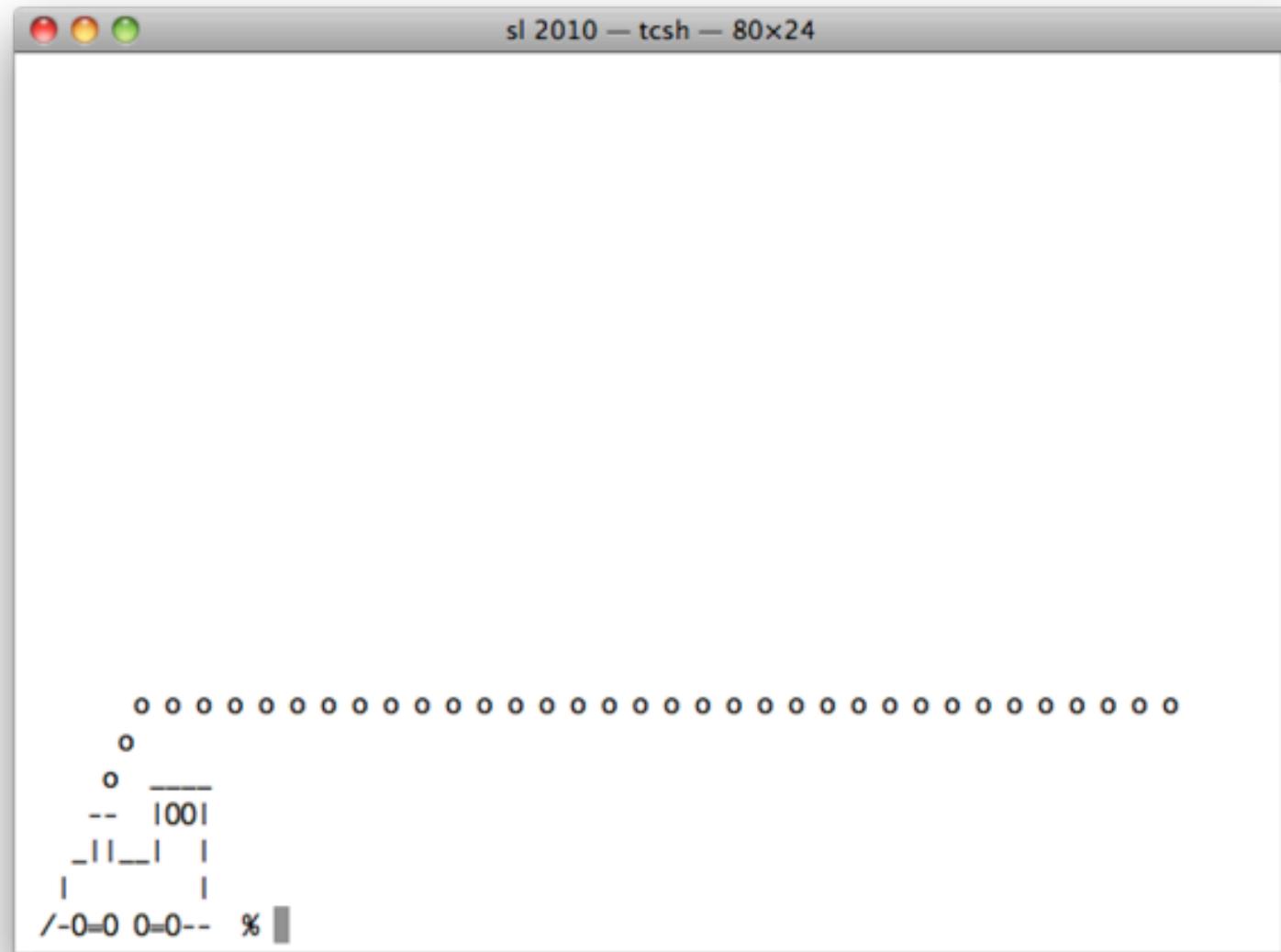
2010年版

2010年版

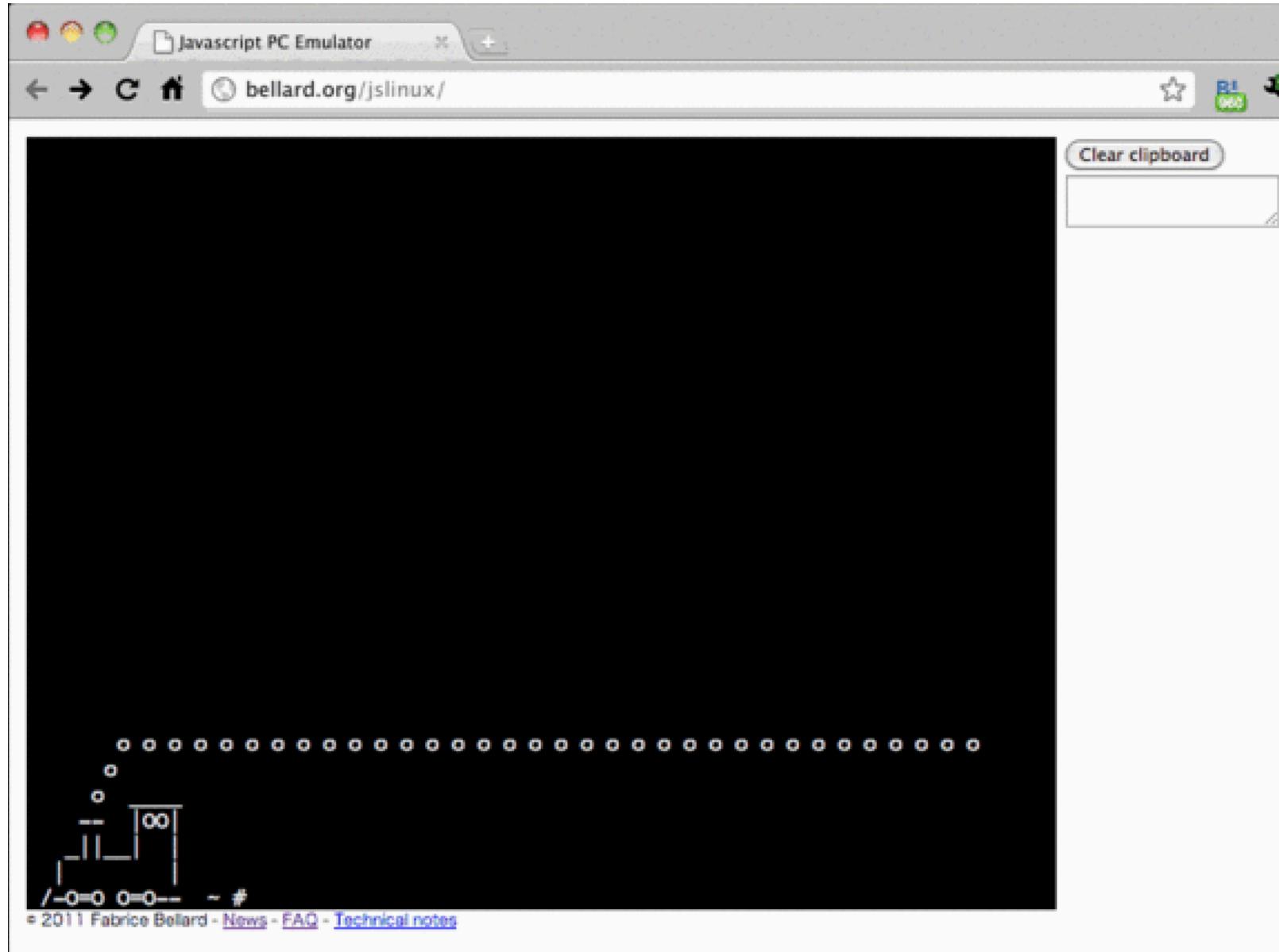
グラフィックを変更

```
char *sl[] = {
    "      o o o",
    "      o   ",
    "      o   ",
    "      --  |00|   ",
    "      -||_|   ",
    "      |  |  |   ",
    "/-0=0 0=0--"
};
```

2010年版



2011年 jslinux 版



2023年版

2023年版

2023年版

署線素片を使用してディテールを再現

```
char *sl[] = {
    "          0 0 0 0",
    "          0           ",
    "          0           ",
    "          0 00        ",
    "          0           ",
    "          0           ",
    "          0           ",
    "0=0  0=0  3\n"
};
```

one more thing

ラッセル機能搭載

```
$  
$  
$  
$  
$  
$  
$  
$  
$  
$  
$ week --tigers  


| 10月 |    |    |   |    |    |    | 2024 11月 令和6 |    |    |    |    |    |    | 12月 |    |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|----|----|---|----|----|----|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 日   | 月  | 火  | 水 | 木  | 金  | 土  | 日            | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日   | 月  | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |   |   |
| 7   | 8  | 9  |   | 1  | 2  | 3  | 4            | 5  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13  | 14 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 4   | 15 | 16 |   | 15 | 16 | 17 | 18           | 19 | 20 | 21 |    |    |    |     |    | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1   | 22 | 23 |   | 22 | 23 | 24 | 25           | 26 | 27 | 28 |    |    |    |     |    | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8   | 29 | 30 |   | 29 | 30 | 31 |              |    |    |    |    |    |    |     |    | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |



0=0 0=0 3


```

sl-2023.c

```
#include <unistd.h>
#include <string.h>
#include <stdio.h>
#include <term.h>
```

sl-2023.c

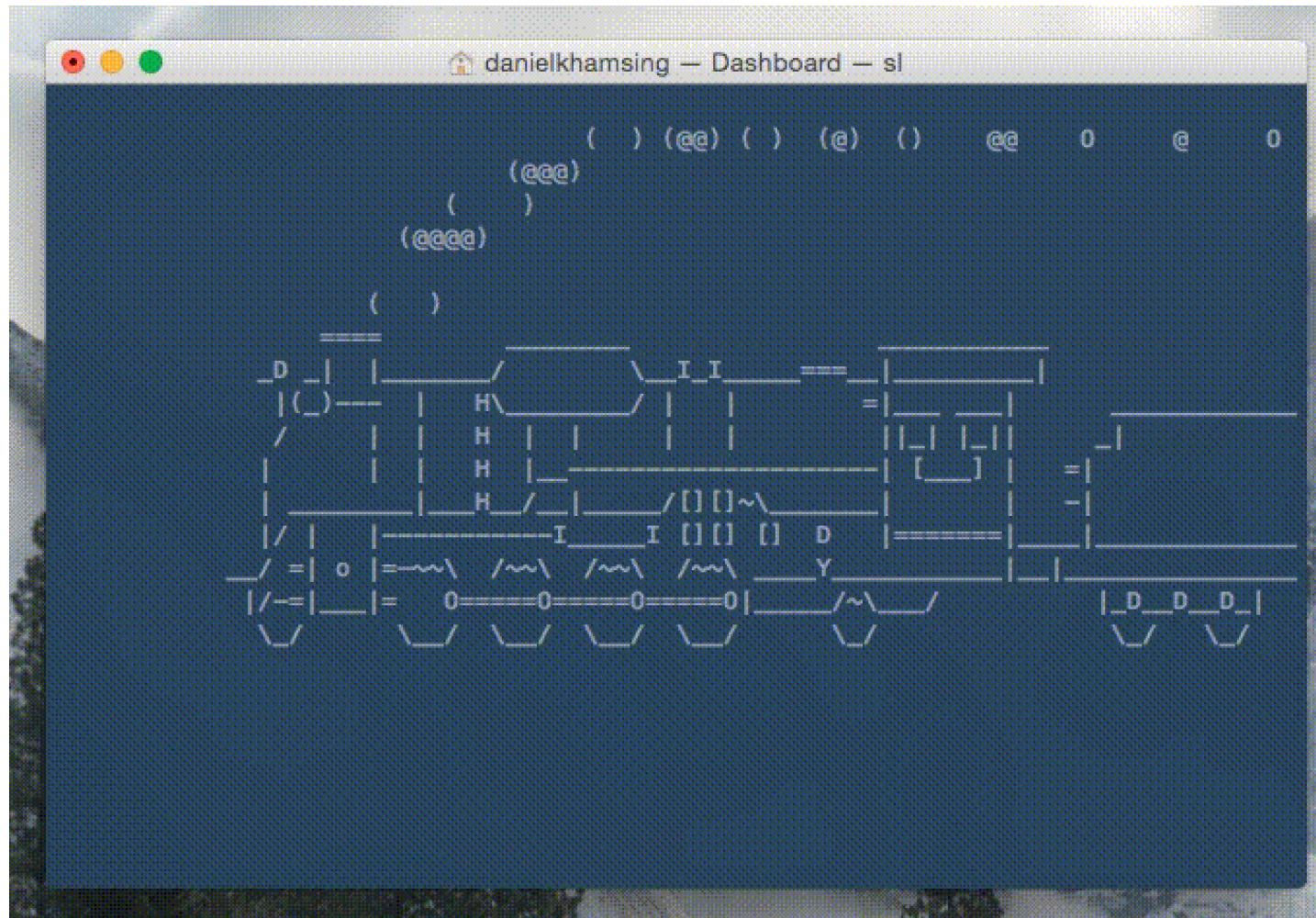
走り終わった後も画面を消さないために結構苦労している。

歴史

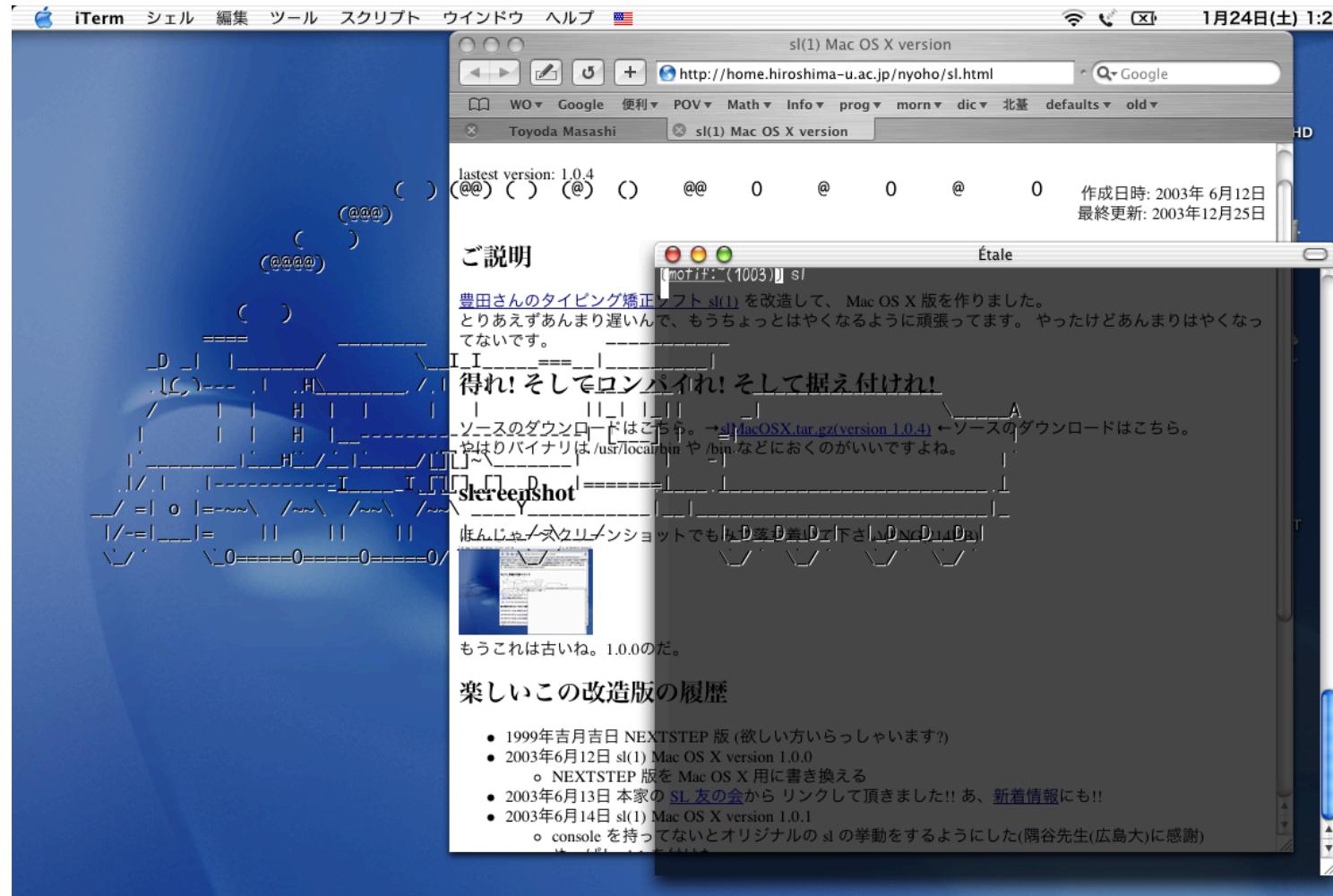
[編集]

UNIXに慣れたソフトウェア開発者達が、GCOS上のディレクトリリストイング・コマンド `dir` の別名として `ls` を定義して利用していたが、当時の端末が半二重だった上にコマンド入力のたびにシェルがディスクをスキャンし直して遅いため、コマンド名を `sl` と打ち間違えるたびにこの開発者のうちの一人である畠山明は苛々してキーボードを鳴らしていた。この音がうるさいため畠山のタイピングを矯正する目的で GCOS 上で小野哲男により開発されたのが最初の `sl` の実装である^[1]。やがて畠山・小野と同じ会社に所属していた鏡沼和友が、UNIX 上で動作し VT100 のエスケープシーケンスに依存するバージョンを `awk` で実装した^[2]。さらに同じ会社に所属していた歌代和正が、端末に依存しない C 言語版を実装し、これを1987年にニュースグループの `fj.sources` に投稿したことで世に広まった^[3]。以来、「作者不明」として流布し、さまざまな改変バージョンが製作された。現在Linuxなど各種Unix系OSのディストリビューション用として公式に採用されているものは、当時東京工業大学の学生であった豊田正史（現・東京大学生産技術研究所教授）が実装し1993年11月2日に `fj.sources` に投稿された、それ以前のものよりも派手な見栄えのバージョンの系列である^[4]。

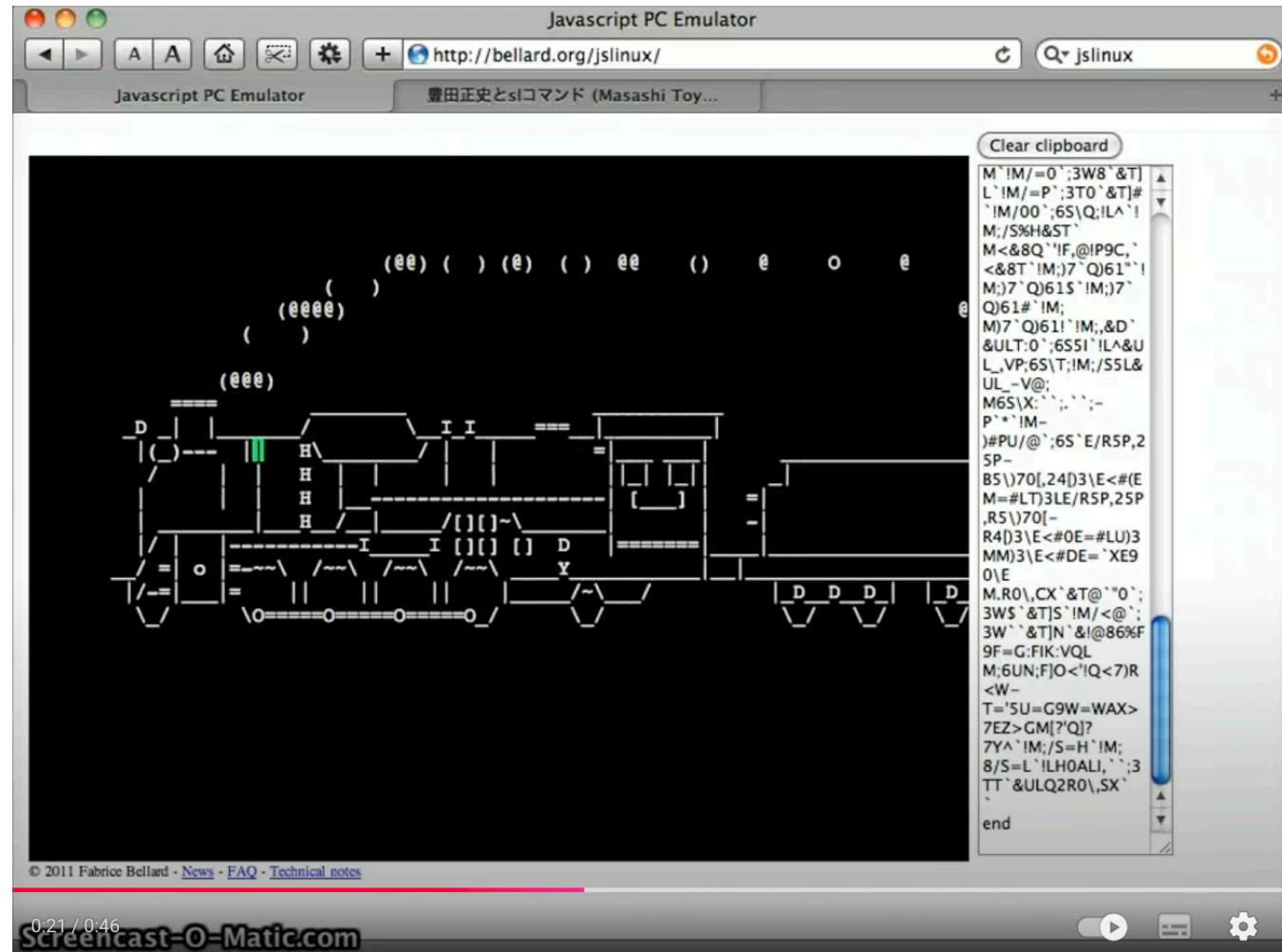
豐田版 sl



mac 版



jslinux 版



javascript 版

GOE 鉄道博物館

- 利用案内
- アクセス
- フロアマップ
- ゾーン別展示
- 展示物一覧
- 館内実習案内
- 企画展・イベント

よくある質問

お問い合わせ

リンク

鉄道博物館とは

最新情報-トピックス

サイトがリニューアルしました。

「本日の鉄道博物館」に企画展のお知らせが掲載されました。

■ 本日の鉄道博物館 Today's The Railway Museum

開催記念 第1回特別企画展 「新幹線の競争—より速く、より快適に—」

開催期間：2007年10月14日（日）～2008年2月25日（月）
開催場所：スペシャルギャラリー（コレクションゾーン2F）
入場料金：無料（入館料金のみでご覧いただけます）

□ 詳しくはこちる

■ Pick Up!

鉄道博物館の展示物を中心としたスナップ写真で、詳しくご紹介しています。

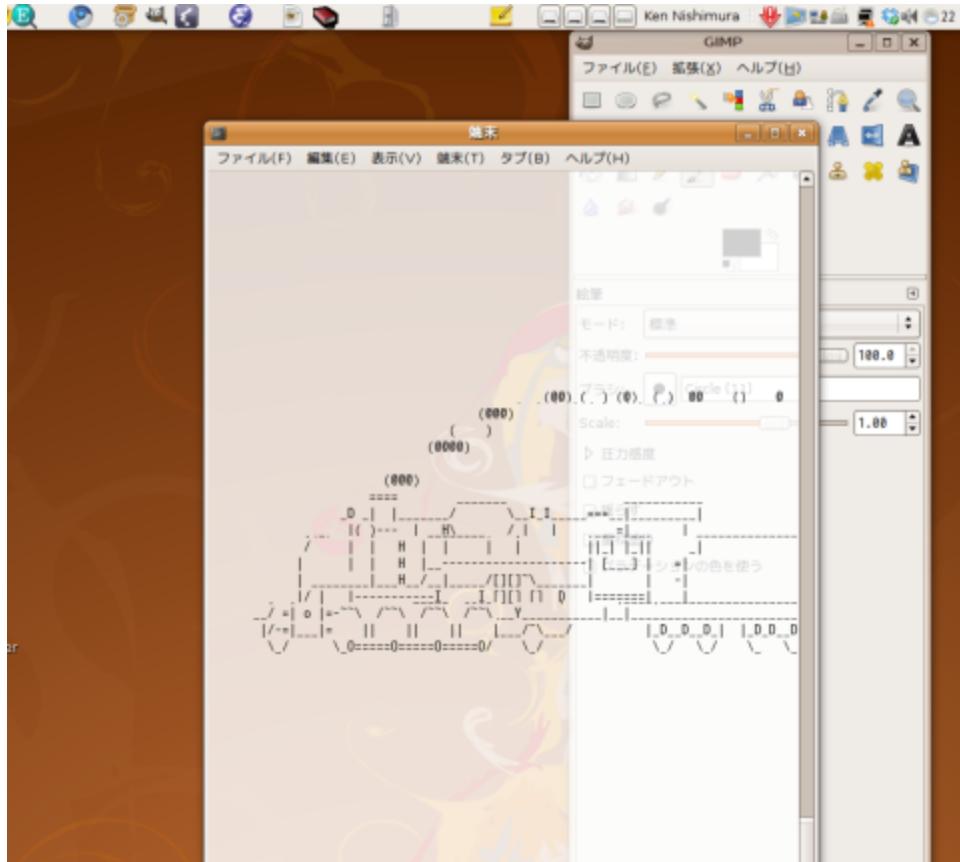
ビストリーボーン標準荷重車両「C57形蒸気機関車」

□ 詳しくはこちる

■ 鉄道博物館からのお知らせ

■ 鉄道博物館オリジナルiPhoneセットの販売について [2008/01/31] New!

vimperator 版

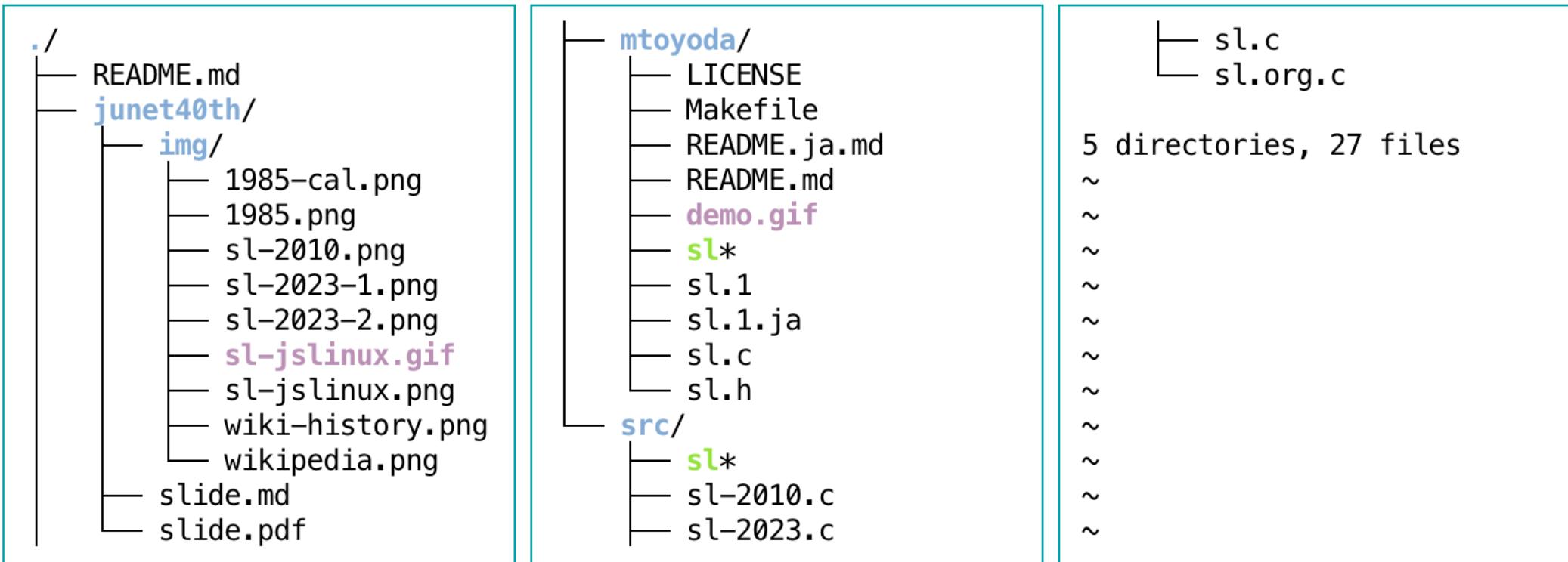


<https://atmarkit.itmedia.co.jp/news/200909/07/sl01.png>

<https://github.com/kaz-utashiro/sl>

- submodule 化した

```
$ git submodule  
923e7d7ebc5c1f009755bdeb789ac25658ccce03 mtoyoda (5.02-14-g923e7d7)  
$ tree | ansicolumn -BC3 --height=17
```



```
$
```

1997年に書いた雑文より

役に立たないものも作れないのに、役に立つものが作れるものか。

